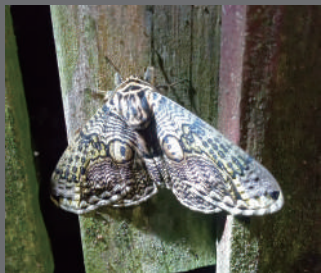


## 奥多摩らしい舞台役者



### イボタガ

観察適期：春

模様がきれい！

翅を広げると9センチ前後の大型種。

昔は23区にもいましたが、緑地が減って見られなくなりました。

緑地が豊富な奥多摩では今でも見られます。東京都レッドデータブック2020年版では絶滅危惧Ⅱ類です。

### ミヤマクワガタ 観察適期：夏

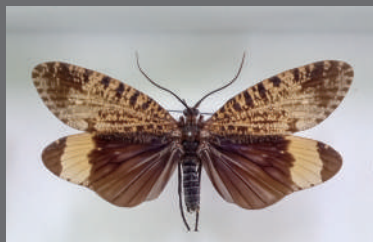
言わずと知れた人気者。

ミヤマは深山で、名前の通り平地にはあまりいません。豊かな森林環境の山地がある奥多摩は都内でもたくさんのミヤマクワガタが見られる場所です。



### ムラサキトビケラ

観察適期：夏～秋

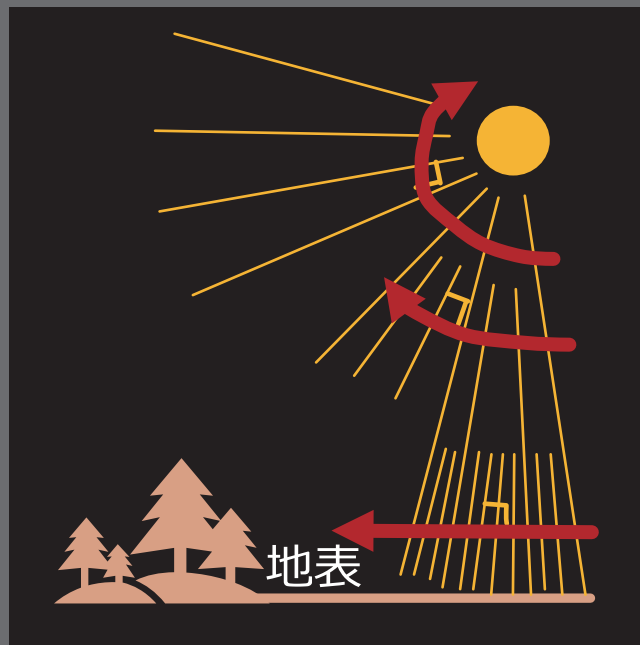


翅を広げると6センチ以上ある日本最大のトビケラ。幼虫は肉食で水生昆虫の幼虫などを食べて育ちます。水生昆虫がたくさん生息する場所でないで見られません。

この虫が見られるところは、森林環境が良く川がきれいな場所。奥多摩もそのひとつです。

## なぜ虫は灯りに集まるの？

灯りに集まる様子を見かけますが、灯りが発明されるはるか前から虫はいました。灯りに集まる習性は持っていたということですね。何のためだったのでしょうか。鍵は月明り！



← 虫が飛ぶと考えられる方向

- 虫は月の光（オレンジ色の線）に対して一定の角度を保って飛び続けます。
- 月の近くだと絵のように月の周りをまわってしましますが、光は地表近くではほぼ垂直に照射されるため、それに対してたとえば直角ならば水平に近くなります。このようにしてまっすぐ飛ぶことができると考えられています。

● でも外灯が出来たため、その灯りを月明りだと思ってしまい近づくと、その光に対して一定の角度を維持して飛びます。その結果、クルクルと回るように飛びながら外灯に集まることになります。外灯の下でクルクル回っている虫を見たことはありませんか。これはこのような事情によるものなのです。



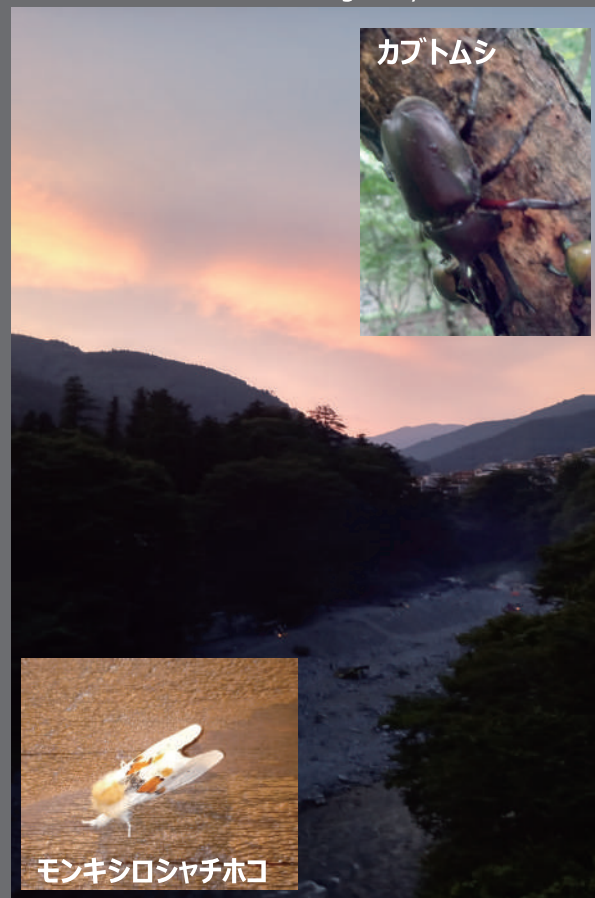
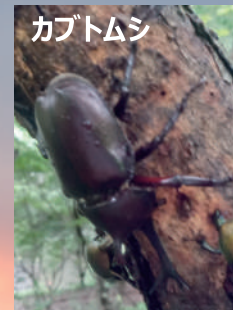
第134号 奥多摩ビジターセンター セルフガイド

## 奥多摩を 歩こう！

### 夜の虫

～虫が演じる舞台は夜に開幕する～  
A Event in the Night by Insects

#### カブトムシ



#### モンキシロシャチホコ

奥多摩ビジターセンター

2022年10月発行

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 171-1

TEL：0428-83-2037

URL：<https://www.ces-net.jp/okutamavc/>

指定管理者：(株)自然教育研究センター(略称CES)

# 夜の虫舞台

## 春はガ

主役



イボタガ  
(イボタガ科)

脇役



キバラモクメキリガ  
(ヤガ科)  
成虫で越冬

野次馬



ホシオビキリガ  
(ヤガ科)  
成虫で越冬



ミヤマクワガタ  
(クワガタムシ科)



アカアシクワガタ  
(クワガタムシ科)  
山にしかいない

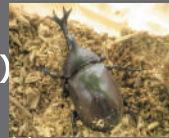


キシダエダシヤク (シヤクガ科)  
山にしかいない



オオツトンボ (ツトンボ科)  
名前はトンボだけど  
トンボじゃない

## 夏は甲虫



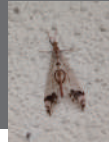
カブトムシ  
(コガネムシ科)  
奥多摩では  
少ない



アオカナブン  
(コガネムシ科)  
山にしかいない



ミンミンゼミ (セミ科)  
鳴き声は聞けけれど  
姿は見にくいセミ、  
セミも灯に来ます



マダラウスバカゲロウ  
(ウスバカゲロウ科)  
山にしかいない

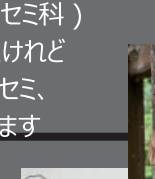
## 秋はいろいろ



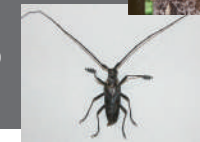
ムラサキトビケラ  
(トビケラ科)



ヒメヤママゴ (ヤママゴガ科)



ウスタビガ (ヤママゴガ科)



ヒゲナガカミキリ  
(カミキリムシ科)  
秋遅くまでいる



シモフリスズメ  
(スズメガ科)

## 冬は

役者不足

でもフユシヤクがいる！



イチモジフユナシヤク  
(シヤクガ科)

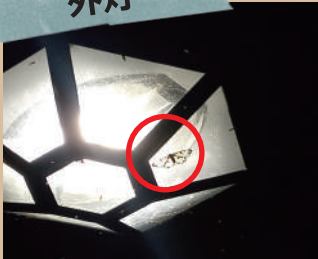


フタスジフユシヤク  
(シヤクガ科)  
山にしかいない

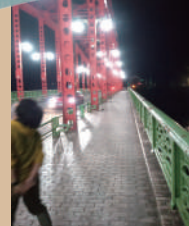
「夜の虫舞台」を見に行こう！

山のなかにある外灯や、橋の灯りをめぐってみよう。

外灯



橋の灯り



ライトトラップ

外灯のない所で灯りを付け虫を集める方法です。灯りを点ける電源などが必要です。集まった虫を確認しやすくするため、虫が止まるスクリーンも用意します。



夜の虫の舞台を楽しめるのが奥多摩！

でもここは国立公園。

楽しみは独り占めせずに、みんなに分けてあげる場所だ。

自分が来る前と同じにして帰ろう！

そのためには片付けも大切。観察した虫も持ち帰らず

に、元の場所に戻してあげることも

忘れないでね！

注意

素手で虫をつかむと噛まれたりすることがあります。慣れない人は軍手など、手袋の使用が安全です。

「夜の虫舞台」が開ける、役者が多いということは自然が豊かな証拠！見に行こう！夜の虫舞台！！

